令和９年度　第２次募集の選抜・評価方法

学校番号　市６
柏市立柏高等学校　全日制の課程　普通科

１　選抜資料

⑴調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵作文	字数　　：５００字以上６００字以下 検査時間：５０分
⑶面接	受検者１名・評価者３名の個人面接（日本語による。場合によっては英語） 検査時間：１名　５分～１０分

２　評価項目及び評価基準

⑴調査書〔１５５点満点〕

アの数値にイ及びウについて加点（上限２０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	「各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値」で評価する。 評定１の教科が複数ある場合は、審議の対象とする。
イ　特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
ウ　部活動等の記録 特記事項	部活動、資格・特技で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。

⑵作文〔１５０点満点〕

次のア、イについて、それぞれ２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(非常に優れている)・b(優れている)・c(標準的である)・d(標準に達していない)の４段階で評価する。a を25点、b を15点、c を7点、d を2点とし、2名の評価者の評価(各75点満点)を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア　字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
イ　文章表現	誤字や脱字がない。文法が正しく用いられている。
ウ　内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

⑶面接〔３０点満点〕

３名の評価者が、次の２つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の３段階で評価する。

a を５点、b を３点、c を１点とし、２名の評価者の評価（各１０点満点）を合計し、得点化する。評価 c が１つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア　志望の動機 高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ　質問に対する応答 面接に臨む態度	質問内容を的確に理解し，分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。（制服・私服問わない） 基本的な面接作法が身に付いている。

3　選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「作文の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		作文の得点	面接の得点	総得点
評定(K=1)	加点			
135点	20点	150点	30点	335点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。